



地域のつながりを生み出す拠点



複雑な家庭環境の子ども達

代表が学習塾を運営するなかで、親の経済的・時間的制約がある、子どもへの関心が希薄などの理由で、**支援につなげられない子どもや必要な情報を入手できない家庭**が存在することが明らかになりました。そのような複雑な家庭環境に育つ子どもも平等に学びの機会につながるができる場を目指し、無料学習支援とコミュニティカフェの2つを柱とした「地域の学び舎プラット」を立ち上げました。

「地域の学び舎プラット」

「プラット」では、生活困窮・発達障害・不登校・虐待などの生きづらさを抱える子どもが、保護者の申込みを必要とせずに食事提供付きの学習支援を受けることができます。また、申し込み不要とし参加のハードルを下げることで、友達や関係機関の紹介で来た子ども達が半数を占めるなど、**支援を必要とする人によって、つながりが広がる仕組みができ、良い循環が生まれました。**

保育士や介護福祉士などの資格を持つ地域住民が主体となり企画・運営するコミュニティカフェは、子どもに限らず誰でも気軽に参加でき、人と人がつながる場となっています。生活に不安がある人を地域の相談センターにつなぐケースもありました。



参加し易さを重視

これらの活動についてはオンライン報告会を開催し、全国の支援団体に事業成果と拠点型アウトリーチの可能性を発信しました。社会課題を全面に押し出さず「暮らしを豊かにするために」という前向きなタイトルを設定したことでより多くの関心を集めることにつながりました。

つながるためのつながり

つながるための取組として、中核地域生活支援センターや病院、行政など関係者会議を開き、日常的に情報共有を行っています。定時制高校生らを対象にした食料支援プロジェクトも連携団体から相談を受けたことをきっかけに始まりました。**支援機関と日頃から交流**を続けてきたことが、プロジェクトの実現に結びつき、そしてまた更なる連携へとつながっていきます。



特定非営利活動法人 ダイバーシティ工房 (千葉県市川市)

事業名 子どもや社会的孤立にある人へのコミュニティ拠点型アウトリーチ事業

助成金額 5,396千円

URL <https://www.plat-diversitykobo.com/support-1>